

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（12月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

みなさまこんにちは。台湾での留学生活も残り数えるほどの日数となり、とても悲しんでいます藤堂智江です。12月もまたまだ行ったことのなかった場所へ行ったり、いくつかイベントがあったりで大変充実した1ヶ月でした。今回も多くの出来事からいくつかピックアップして紹介していきます。

【Mini Play Contest】

英語学科の文学の授業でちょっとした劇をしました。ギリシャ神話である Antigone を1グループ1場面ずつ自分達で作りました。14人のグループで演出や編集、音響、照明、演者など役割を分担し、忙しいスケジュールにも関わらず、約2週間かけ行いました。私は少しだけ台詞のある役をもらったのですが比較的楽な方でした。台本は書き直しても良いことになっていたため、私たちのグループの編集担当の子が本来とは全く異なる、学校を舞台とした現代風の物に書き直してくれ、とても評価されました。

初めはこのイベントをととても面倒に感じていましたが、普段なら1週間に1度しか合わないクラスメイトと他の時間も会い、一緒に練習するうちに仲が深められ、楽しむことができたので良い思い出になりました。また、役として台湾の高校の制服も着ることができました。

制服と言えば、台湾の大学にはちょっと変わったイベントがあるようです。ある日この文学の授業に行くと、半分ほどのクラスメイトがそれぞれの高校の制服を着て登校していました。この日は1年生の制服パーティーの日だったのです。制服を着ることで出身校がわかりやすくなるというのが理由で、その服装で放課後に学内でパーティーを行うのだそうです。



【宜蘭日帰り旅行】

学内の IDEA という団体が留学生向けに企画した宜蘭という台北の東部にある場所へのバス旅行に参加しました。台湾伝統芸術センターと言うところで原住民特有の柄を用いたブレスレットを作ったり台湾料理を食べたり、湖辺で4人乗り自転車を漕いだりしました。中でも最も面白かったのがネギ収穫です。宜蘭は葱が有名な場所で、葱を収穫し、葱油餅という台湾や中国で人気の葱の入った中華風パイのようなものを作る体験



ができました。参加者は全員農家の笠と長靴を履かされ、とても面白かったです。また、このイベントもグループ分けがあり、他国からの留学生や初めて会う台湾人と関わることもできました。前期と違い、今期は私も中国語で会話ができるようになっているので中国本土からの留学生と台湾人と一緒にバスの中で盛り上がることができ、また良い思い出ができました。

【キャンパスライフ】

ちなみに大学のキャンパスは12月初めから、恐らく今学期が終わる1月中旬までクリスマスモードです。ミッション系大学のため、学校中ほとんど全ての建物にそういった飾りがあったり、外には2つの大きなクリスマスツリーとそれなりの規模のイルミネーションがあります。写真は、そのクリスマスツリーの前で撮った写真なのですが、4年生の友達が卒業のアカデミックガウン(?)を借りてくれ、一緒に撮った物です。日本の大学にはないので着ることができて嬉しかったです。台湾人の大学生は卒業前の半年以上前からこの服を借りることができ、観光スポットやキャンパスなど様々な所で写真を撮っています。また、8日頃に学校祭も行われていました。学内に小さな夜市ができていたり、多くの人がキャンパスを訪れていてとても賑やかでした。



【多くの再会】

帰る時間が迫っているということもあり、今月は特に多くの人と会ったように思います。先月祖父のおかげで知り合えた方々にもう一度、今度は私だけで会いに行き一緒にご飯を食べたり、泊めてもらったり、観光に連れて行ってもらったりしました。このように社交辞令でなく実際にもう一度私と約束をして会って、面倒を見てくださり、本当に台湾人は優しく、温かい心を持っていて、気持ちの面で人と人との距離が近い国だなあと感じています。泊めてくださった方は、「ここはあなたのうちだと思って」とおっしゃってくれたり、本当に台湾に家族ができたような温かい気持ちになりました。その分別れはとても辛いです。しかし、このように温かい台湾人だからこそ私が帰ってもきっと関係は途絶えないと思うし、必ずまた会えると信じて帰国します。

年末年始も盛りだくさんだったのですが書き切れないので来月分に含めてお伝えしたいと思います。謝謝！